

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 散乱光を用いた新しい観測的宇宙論への挑戦
2. 研究代表者： 市來 淨與（名古屋大学 素粒子宇宙起源研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、宇宙に存在する天体を鏡のように用いることにより我々の光円錐の内側の情報を得て空間的に同じ場所を異なる時刻で直接比較することを可能とし、質的に新しい宇宙論を開拓することを目指している。フェーズ1では、CMBの銀河団での散乱光の偏光を見ることにより過去の宇宙を直接見るというアイデアで、概念を実証するシミュレーション結果を論文発表した。課題1が完了し、新しい着想も得られるなどの成果が上がっていると評価される。フェーズ2では、残された課題への見通しもあり、新たな着想も得られているので、研究目標に向けて良い成果が挙げられると期待する。後年における科学の進展にも寄与できるよう、しっかりとした研究を進めていただきたい。

以上